

主題名 **美しい心**教材名 **「しあわせの王子」(東京書籍)****内容項目 D-(20) 感動・畏敬の念**

本主題で育成する資質・能力

思考・表現

- 1 対象・日時 第3学年1組 計17名  
令和7年7月10日(木) 第4校時

## 2 主題設定の理由

本主題は、「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」小学校第3学年及び第4学年の内容項目D-(20)「美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。」を基に設定したものである。

第3学年及び第4学年においては、自然や音楽、物語などの美しいもののみならず、人の心や生き物の行動を含めた気高さなどにも気付くようになる。そのことを通して、美しいものや気高いものに意識的に触れようとする態度を育てることが大切である。こうした体験を積み重ねることによって、想像する力や感じる力がより豊かになっていく。自然の美しさや気高いものに触れて、素直に感動する心を育てていくことが求められる。このことから、美しいものとは、目に見えるものだけではなく、人の心の美しさや生き方の美しさもあることに気付いたり、「すごいな。」と感動しながらも今の自分では及ばない尊敬の心を持ち、自分を見つめ直したりすることで、これから出会う美しいものや気高いものに感動できる心情を育てることにつながると考え、本主題を設定した。

本校の児童は、「感動、畏敬の念」において、心の動きや感性を言葉で表現することへの苦手意識や、生活経験の差が大きいことから、対話する場面を設定しても客観的な考えの交流に留まってしまい、自然の美しさや人の心の気高さなどを感じ取る心を自分自身がもっていることに気付くことや、大切にしたり深めていったりしようとするまでに至っていないという課題がある。また、本学級の児童は、自分の経験と結びつけながら対話しようしたり、友達に質問をして対話をつなげたりしようとするものの、自分の考えを伝えることに消極的であったり、正解を探りながら考えを述べようとしたりすることから、多様な考えを交流したり、多様な考えを基に自己の生き方についての考えを深めたりすることに課題が見られる。

本教材は、宝石や金箔で飾られた像「しあわせの王子」が、ツバメに頼み、自分の宝石や金箔を貧しい人々に届けさせる。やがて、王子はすべてを失い、ツバメも寒さで命を落としてしまうが、天使が王子の優しい心とツバメを胸に抱きあげて天に昇っていくという物語である。

指導に当たっては、哲学対話の手法を取り入れ、「問いづくり」「考えづくり」「生き方づくり」の学習展開を進める。その中で、児童が「問い」を生み出し、その問いについて多面的・多角的に自分の考えを深め、自己の生き方について考えを深め広げていけるように対話の時間を十分に確保していく。哲学対話をする「考えづくり」では、対話のルール等を設定し知的安全性が担保された中で対話ができるようにしたり、多面的・多角的に考えるよさや重要性を共有したりすることで、一人一人の意見を尊重しつつ、様々な意見を引き出したり、つないだりしながら感動、畏敬の念について考えていけるようにする。「問いづくり」でもった児童の問いを起点に哲学対話をすることで、美しさとは、自然などの具体的に目に見えるものだけでなく、人の心の美しさや気高さなどの美しさもあることに気付かせたり、その美しさや気高さを感じとる心をもっている自分を自覚し、その心を大切に、更に深めていこうとする気持ちを高めさせたりしたい。また、美しい心は人の心を変える力があることや、誰かのために一生懸命な姿は感動を与えるということに気付かせながら、教材にある「美しい心」とどまらず、生活の中で見つけた「美しい心」について想起し、美しさの捉え方の違いや見方、感じ方をさらに広げ、感動する心の豊かさについても考えることを目指す。

### 3 本時の学習

#### (1) 本時のねらい

「美しい心」について児童がもった問いを基に対話することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考え、「人間は何に感動をするのか」について追究し、美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。

#### (2) 学習の流れ

	学習活動	教師の問い (○) 児童の問い (★) と心の動き (・)	指導上の留意点 (・) (◎評価の観点)
問 い づ く り ( 14 分)	1 道徳的価値について課題意識をもつ。	<p><b>道徳的価値に関する問い</b></p> <p>○みんなは何を見たときに「きれいだな。」「美しいな。」って感動する？</p> <p><b>道徳的諸価値に関する「答えのない問い」につなげる工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・星を見るとききれいだなと思うよ。</li> <li>・海とか夕日もきれいだよ。</li> <li>・満開の桜を見てもそう思うよ。</li> </ul> <p>○クレヨンしんちゃんの映画で涙が出る、運動会で中学生の姿を見て涙が出る等、こんな経験あるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラえものの映画を見て泣いたことがあるよ。</li> <li>・満開の桜を見てもそう思うよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「感動」について、児童の体験を振り返り、内容項目や教材への意欲付けを行う。</li> <li>・写真やイラストを見せながら、実体験を引き出すことで、「感動」とは、目に見えるものだけなのか、他にもあるのかと問い、テーマについて問題意識をもって考えられるようにする。</li> </ul>
	<p>テーマ 人間は、何に「感動」するのだろうか。 (道徳的諸価値に関する「答えのない問い」)</p>		
	2 教材について自分との関わりで考える。	<p><b>自己を見つめる問い</b></p> <p>○美しい金箔で作られた銅像の王子様と冬を越すために南の島に向かうツバメお話です。あなたはどこに心が動くだろう。<b>自分との関わりで考えるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・王子が優しすぎる。</li> <li>・ツバメも南の国に行きたいはずなのに、すごいな。</li> </ul> <p>○お話を聞いて、みんなで考えたいことはどんなことだろう。</p> <p style="text-align: center;"><b>〈自己を見つめて発見した「答えのない問い」〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★王子もツバメも、なぜここまでできたのかな。</li> <li>★王子の優しい心とツバメが天に昇って行ったのはなぜだろう。</li> <li>★なぜ、天使は王子とツバメを連れて行ったのだろう。</li> <li>★このお話の美しさって何だろう。</li> </ul> <p>○どんな疑問 (多面的・多角的) について、みんなで考えたいだろう。</p> <p><b>多面的・多角的に向き合うための対話に向かうための工夫</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材に入り込んで、自分ごととして考えられるように視点を示して聞くよう声をかける。</li> <li>・児童から出た感想を使って、場面や教材、登場人物の把握を行い、板書に整理する。</li> <li>・疑問や話し合いたいところなど、児童だけで行うことは難しいため、教師と一緒に問いを考える。</li> <li>・「心の美しさ」について考えていけるよう方向付けを行う。</li> <li>・ここで決める問いはあくまでスタートの問いであり、他の問いが対話の中で出てきてもよいことを確認する。</li> </ul>

考えづくり (25分)

4 児童が考えた問いを基に対話する。

多面的・多角的に向き合う問い

〈自己を見つめて発見した「答えのない問い」による対話、対話による新たな問いの発見〉

- ★王子もツバメも、なぜ、ここまでできたのだろうか？
  - ・王子はとにかく困っている人を放っておけなかったんじゃないかな。③
- ☆放っておけないとは知らんぷりできないってこと？
  - ・とにかく何か自分ができることをしたいって気持ちかな。③
- ☆こんなことできたらものすごく素敵だけど…なかなかできないよね。できる？
- ☆どこまでだったらできるかな？
  - ・ツバメもすごいと思う。
  - ・寒いと生きられないのが分かっているのね。
  - ・他の人のためにここまでできるって尊敬するね。①
- ★天使が、王子の優しい心とツバメを天に連れて行ったのはなぜだろう？
  - ・町の人のために一生懸命頑張ったから、天使が連れて行ってくれたんだと思う。②
- ☆なんで、頑張ったら連れていくのかな。ご褒美みたいなことかな？
- 王子とツバメはご褒美をもらおうと、みんなのためにいろいろしていたってこと？
  - ・ちがうと思う。ご褒美のためにはしたんじゃなくて、本当に心配して、困っている人みんなにしてあげたかったんだと思う。③
  - ・天使が、王子の優しい心とツバメに感動したんじゃないのかな。①③
- ☆感動とは？例えば？
  - ・王子とツバメの自分より人のために何かしたいという優しい心。③
  - ・他の人のために一生懸命なところもじゃないかな。②③
  - ・自分のことよりも他の人を思う心もかな。③
  - ・目に見えない美しさに感動したんだね。①
- ☆どういうこと？
  - ・王子は、金箔がはがれて、宝石もなくて、見た目はきれいとは言えないし、ツバメも死んじゃったから、もう動かないけど、この二人の心がきれいだったから、感動したんじゃないかな。①

・問い合ったり、聞き合ったりすることを大切にする。

対話のツール

問いワード

- ☆なんで？
- ☆例えば？
- ☆どういうこと？
- ☆もし～だったら？
- ☆他の考えは？
- ☆自分だったらできる？

〈対話を促すための工夫〉

・児童が主体的に問いワードを使って対話をつなげていけるように、教師も問いワードを活用して、児童の発言をつないでいく。

生き方づくり (6分)	5 自己の生き方について考えを深める。	<b>自己の生き方についての考えを深める問い</b> ○あなたは、 <u>自己の生き方につながるための工夫</u> 何に感動するだろう。「感動」に対する、これまでの自分、これからの自分について何を考えるだろう。 〈道徳的諸価値に関する「答えのない問い」に基づく 自己の生き方についての考えを深める問い直し〉 ・人に親切にしてもらって、「ありがとう。」と思える心も感動しているということなのかなと思いました。親切にってもらって、嬉しい気持ち、すごいなと思う気持ちをもつこととその気持ちをきちんと伝えることが大事だと思いました。 ・私は、運動会とかで一生懸命頑張っている人を見て「すごい。」と思ったことがあったので、あのとき私は、感動していたんだなと思いました。頑張っている人をちゃんと見付けられる人にもなりたいし、「すごいね。」って感動してもらえる人にもなりたいです。	◎目の前に広がる美しさやすごさだけではなく、心で感じる美しさやすごさに感動するよさに気づき、心の動きを大切にしようとする思いをもつことができる。(ノート)
-------------	---------------------	---	---

#### 4 哲学対話を通して児童が多面的・多角的に向き合う道徳的価値

